

宇治山田高校 同窓会報

No.
29
2012. 6. 1

発行所: 山高同窓会
発行人: 池田六太郎
編集人: 越山 初生
印刷所: 文化印刷術

伝統と共に、
確かに受け継がれる精神――



第20回記念国際高校生選抜書展大賞 島田冴香さんの受賞作品



篆書千字文の臨書をする島田さん



CONTENTS

- | | |
|---------------|-----------------|
| 02 同窓会長ごあいさつ | 08 山高NOW! |
| 02 学校長ごあいさつ | 10 特集記事 |
| 03 同窓会委員 | 11 同窓会協力金寄付者御芳名 |
| 03 事業報告及び事業計画 | 14 大学入試状況 |
| 04 決算及び予算 | 15 献本リスト |
| 05 事務局だより | 15 同窓会ホームページ |
| 05 支部だより | 16 同窓会総会のお知らせ |
| 07 通信欄 | 16 編集後記 |

いあいさつ



同窓会長
池田 六太郎
(山高19期)

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は同総会活動に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

伊勢の地では、来年・平成二十五年の第六十二回神宮式年遷宮を迎えるにあたり、着々と準備が進められております。

本年四月七日には、外宮まがたま池のほとりに式年遷宮記念「せんぐう館」が開館しました。せんぐう館は、式年遷宮の意義と社殿造営や御装束神宝の技術を未来へ継承するため、「神宮」「式年遷宮」「神道」についてわかりやすく知ることができ展示がされております。是非一度ご覧いただければと思います。

又、各町内も「お白石持行事」の奉献団が結成され、来年七月からの奉献のための準備が進められています。二十一年に一度の行事でございいます。是非ご参加いただければと思います。

ます。

「第三回山高プラチナゴルフ会」が本年四月二十八日(土)伊勢カントリー倶楽部貸切で行われました。

珍プレー好プレーの中、懇親を深めました。来年も四月二十七日(土)開催予定です、多くのご参加をお待ちしております。

同窓会の目的は、会員相互の親睦と母校に対する支援であります。今後もその目的のため活動を続けてまいります。ご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

元気な山高生



学校長
中谷 文弘

4年目の春を迎えることとなり、3年前の頃が妙に懐かしく感じられます。本部や東京支部など各支部の総会に出席し、初めてお会いする同窓生の方々の母校への熱い思いに胸を打たれながら、昔話を懐かしく聞かせていただき、学校経営への意欲をかき立てられたものでした。

本校では、とりわけ数年前から大きな学校改革に着手しており、「知性・気品・伝統」をベースとし、目指す学校像を明確に示しながら、学校を挙げて取り組みを進めてまいりました。少しずつではありますが着実にその成果が現われてきており、今後のさらなる飛躍への土台をしっかりと築き上げることができました。平成23年度の特筆すべき成果をいくつか挙げてみます。

国公立大学への合格者数が、平成10年度以降(高校入学者選抜において、第三群制度が廃止され単独選抜となつて以降)、最高の結果となりました。これは、第三学年を中心として、「生徒に最後まであきらめさせない」「受験は団体戦であり、粘り強く指導・支援していく」姿勢が学校全体に浸透し、生徒もそれによく応えてくれた結果だと考えています。

文化祭や合唱祭など学校行事においては、生徒会執行部を中心に、自主自立の精神で企画・運営に取り組み、その充実した内容が全校生徒に共感を呼び起こすなど、学校全体が活気づいています。学校関係者評価委員会においても、外部委員の方々から、「最近の山高生は元気で明るい」といった評価をいただき、大きな励みともなっています。

部活動では、会報の表紙でも紹介されています書道部の島田冨香さんの作品が、「書の甲子園」である国際高校生選抜書展で大賞を受賞しました。受賞作品は「篆書千字文」の大作で、長い時間をかけて取り組んだ根気と集中力が見事なものであり、昨年度の森川さんの準大賞に続く快挙となりました。本県はもちろん、東海地区でも初めての受賞でした。

こうした元気な山高も、同窓生の皆様方の理解と支援により支えられています。同窓生の皆様方には、今後も母校の教育活動にご理解をいただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業報告及び事業計画

理事	理事	理事	理事	會計監査	會計監査	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	支部役員	東京支部支部長	大阪支部支部長	名古屋支部		北勢支部支部長				
理事	理事	理事	理事	會計	理事	事務局長	事務局長	事務局長	事務局長	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	事務局長	事務局長	事務局長	支部長	支部長	事務局長				
藤原 信一	山下 智史	廣 めぐみ	石川 雄一朗	上之郷 賢二	中村 美代子	奥野 幸良	森岡 義博	川北 文彦	小山 澄人	廣山 晶彦	牧田 平	竹内 幸弘	山口 英郎	奥山 元彦	西根 輝男	浅井 裕司	永木 志伸	中村 郷美	小久保 真由子	角谷 隆	早川 仁也	藤本 芳枝	富永 武司	増井 洋生	齋藤 友彦	江崎 隆夫	竹内 幹仁
高37	高41	高44	高45	高25	高23	高30	高30	高30	高32	高32	高21	高26	高28	高30	高34	高38	高38	高45	高52	高10	高10	高14	高14	高15	高31	高13	高20

平成23年度事業計画

平成23年

8月14日 総会

11月20日 大阪支部総会

平成24年

1月23日 正副会長会議

3月1日 同窓会入会式

6月1日 会報発行

※本会運営のために正副会長会議など
※支部総会が開催される場合は本部
※を必要に応じて行います。
※より出席します。



決算及び予算

平成22年度決算

収入の部

(単位:円)

項 目	本年度決算額	予算額	備 考
前期繰越金	515,842	515,842	
入 会 金	3,120,000	3,120,000	10,000円×312人
預 金 利 子	29,737	10,000	
雑 収 入	192,001	250,000	親睦会会費、CD売上
協 力 金	2,385,607	2,300,000	会報発行協力金
別途積立金取崩額	1,000,000	1,000,000	
合 計	7,243,187	7,195,842	

支出の部

(単位:円)

項 目	本年度決算額	予算額	備 考
総 会 費	731,875	850,000	パーティ経費・招待者案内状
会報発行費	2,950,156	2,950,000	印刷費、発送費
入 会 式 費	141,240	140,000	記念品代
会 議 費	168,730	300,000	役員会、委員会食事代等
支部・同期会費	490,350	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通 信 費	23,265	40,000	
消 耗 費	14,190	40,000	
旅 費	217,845	190,000	各支部総会出席
慶 弔 費	35,750	70,000	
母校後援事業費	99,582	100,000	
ホール管理費	300,000	300,000	
インターネット管理費	32,060	60,000	通信代、利用料
給 与 費	480,000	480,000	
予 備 費	15,000	500,000	
次期繰越金	1,043,144	175,842	
合 計	7,243,187	7,195,842	

平成23年度予算

収入の部

(単位:円)

項 目	前年度決算額	予算額	備 考
前期繰越金	515,842	1,043,144	
入 会 金	3,120,000	2,770,000	10,000円×277人
預 金 利 子	29,737	10,000	
雑 収 入	192,001	200,000	親睦会会費
協 力 金	2,385,607	2,300,000	会報発行協力金
別途積立金取崩額	1,000,000	1,000,000	
合 計	7,243,187	7,323,144	

支出の部

(単位:円)

項 目	前年度決算額	予算額	備 考
総 会 費	731,875	800,000	パーティ経費・招待者案内状
会報発行費	2,950,156	2,950,000	
入 会 式 費	141,240	130,000	記念品代
会 議 費	168,730	300,000	会議時食事代等
支部・同期会費	490,350	500,000	支部・同期会助成
クラブ補助費	500,000	500,000	母校クラブへ
通 信 費	23,265	40,000	
消 耗 費	14,190	40,000	宛名シール他
旅 費	217,845	200,000	各支部総会出席
慶 弔 費	35,750	70,000	
母校後援事業費	99,582	0	
ホール管理費	300,000	300,000	プラチナホール管理費
インターネット管理費	32,060	50,000	通信代、利用料
給 与 費	480,000	480,000	
予 備 費	15,000	500,000	
次期繰越金	1,043,144	463,144	
合 計	7,243,187	7,323,144	

財産目録

	円
1. 第三銀行定期預金	10,000,000
2. 百五銀行定期預金	5,000,000
3. 百五銀行普通預金 (インターネット管理用)	0
4. 百五銀行普通預金 (協力金用)	0
5. 郵便局普通貯金	1,043,144
6. 振替口座 00870-1-23118	0
7. 振替口座 00800-2-16973	0
8. 現 金	0
合 計	16,043,144

(内別途積立金	15,000,000)
(次期繰越金	1,043,144)

百周年別途積立金	
百五銀行定期預金	3,700,000

監査報告

平成22年度(H22.7.1～H23.6.30)の会計について監査を実施したところ、適正に処理されていることを認めます。

平成23年7月3日

会計監査 中 村 美代子(高23期)
奥 野 幸 良(高30期)

事務局だより

23年度の人事異動により、浜田一夫事務長がご勇退され、中西泰徳先生（地歴、高36）が相可高校へ転出されました。そして、24年度の異動により、倉田謙二事務長、中村郷美主査（高45）、小久保真由子先生（公民、高52）が着任されました。

支部だより

平成23年度東京支部総会 池袋サンシャインで開催される

事務局長 早川 仁也

東京支部の総会・懇親会は、東日本大震災後のこの時期、開催すべきかどうか議論の末、質素にそして費用も安くし、その残りを義援金として寄付しようということで、平成23年6月19日、池袋のサンシャインビルの58階での開催を決定しました。総会冒頭に事務局長から東日本大震災で亡くなられた方々に、そして平成22年11月東京支部の元支部長の久保田康耶（山中47期）氏、同年12月には、前支部長の東倉康二（山高5期）氏がお亡くなりになりました。一分間の黙祷を捧げ総会を開催致しました。

定時総会では、大西支部長（山高9期）の開会の挨拶に始まり、伊勢から上京された池田同窓会会長、中谷学校長のご挨拶を頂き、早川事務局長（山高10期）から活動報告、会計報告があり承認を頂きました。

今回は、190名を超える同窓生と、17名のご来賓が会し、サンシャイン58階の会場から眼下に見下ろす

東京の景色を一望し、遠くに見えるスカイツリーを肴に、懇親会となりました。

そして今期まで東京支部の支部長を務められた大西章夫（山高9期）さんが退任され、今まで副支部長の角谷隆（山高10期）さんが支部長に承認されました。山中・山女・山高の校歌斉唱、写真撮影と続き、会計幹事から会場内に設けられておりました東日本大震災への義援金箱の集計金額が発表され、その額7万余円。10万円ちようどになるように不足分を東京支部会計から支出し募金することを会員の皆様に承認を頂き、日本赤十字社を通して義援金を送ることとし、お開きとなりました。

さてもう一つ東京支部の恒例行事、年2回の「歩こう会」も回を重ねること22回目となりました。平成23年12月2日40数名が参加し、今冬一の寒風の吹く曇り空の中、幸いにも雨に降られることなく全員無事歩き通しました。川崎市

の味の素工場見学から始まり、昼食に横浜中華街のホテルで中華料理をいただき、疲れをお酒とみんなの笑いの中で吹き



22回「歩こう会」



飛ばし、歩こう会を無事終了することができました。（幹事さん、御苦労さまでした）。

尚、平成24年度東京支部総会・懇親会は、平成24年6月3日（日）池袋サンシャインビル58階「クルーズクルーズ」で開催します。

連絡先 東京支部事務局

TEL&FAX 0487341312
早川仁也事務局長まで

名古屋支部報告

事務局長 齋藤 友彦

名古屋支部は第16回総会を、平成23年4月17日に名古屋市中区の名古屋国際ホテルで開催致しました。

総会に先立ち、東日本大震災で犠牲となられた方々へ黙祷を捧げ、並びに一日でも早い復興を願いました。

恩師は中西長男先生、山高から中谷校長先生、中山教頭先生、奥山元彦先生（山高30期）にご出席頂きました。

同窓会本部、東京・大阪・北勢支部からのご出席、また遠方より多数の方にお越し頂き出席者82名となり盛大に開催することができました。

今回役員交代で、石丸典生支部長が顧問になり、増井洋生副支部長が支部長になった挨拶もそれぞれさせて頂きました。

総会に続き、懇親会では琵琶演奏

を楽しんで頂きました。伊勢若松出身の大黒屋光太夫の話を弾き語りで演奏して頂き、なかなか聴く機会のない琵琶の生の音色を楽しみました。

また今回は、厳しい予算の名古屋支部運営費へのご協力を総会名簿への賛助広告、お茶席、小物販売で皆さまにお願いしました。集まりました協力金は、支部運営費として大切に使用させて頂きます。ご協力ありがとうございました。

至らぬことも多くあったことと思いますが、皆様のお陰を持ちまして無事終了させて頂きましたこと感謝申し上げます。

現在、定期的に会合をもち、第17回総会（平成25年4月開催予定）の準備に、事務局一同努力している次第です。

愛知県・岐阜県在住の山高卒業生でお時間のある方は、是非事務局のお手伝いをお願いしたいので、事務局まで連絡をお待ちしております。

連絡先 090・2348・1691
名古屋支部事務局長 齋藤友彦まで

北勢支部総会開催のお知らせ

事務局長 江崎 隆夫

第11回の北勢支部総会及び懇親会を平成24年11月4日に開催いたします。新執行部として最初の総会で幹事一同開催の打ち合わせを行い準備中で御座います。楽しかった良かったと言って頂ける様に幹事一同知恵を出し合い企画をしています。昨年より暗い話が多かった中で北勢支部として嬉しい事が御座いました。

永年支部長をして頂き現在支部顧問の山崎義文さん（山中48期）が昨



年秋の叙勲で旭日双光章を受章されました。

また支部幹事の田中智也さん（山高36期）が三重県議会議員に初陣にて当選されました。本当にお目出たい事で支部としても嬉しい事でございました。

開催時だけでなく、日々にチャンスあるたびに同窓会の趣旨をご理解いただいて、多くの方に参加頂けるよう努力したいと思います。開催の案内ハガキを送付いたしますが、案内ハガキの有無にかかわらず県内県外のご参加も大歓迎です。連絡頂ければ幸いです。今後とも皆様にご支援とご協力をいただいて会の発展に努力したいと思っております。

「わいわい、ガヤガヤ」と仲良く楽しく運営している北勢支部です。今後とも宜しくお願い致します。

開催日時 平成24年11月4日（日）

午前11時より

場所 四日市シティホテル

支部長 江崎 隆夫（13期）

副支部長 山本 松敏（21期）

事務局長 竹内 幹人（20期）

大阪支部新体制で初総会

事務局長 富永 武司

藤本新キャビネット成立後、初めて迎える第十六回大阪支部総会が市内にあるKKRホテル大阪で開催された。会には同窓生・来賓合わせ約五十人が参加、一層の連帯と懇親を深める活気のある集いとなった。総会は定刻通り十二時に開催され、主催者を代表しての藤本支部長の挨拶をかわきりに、池田同窓会長・中谷学校長・中西県大阪事務所長の来賓

祝辞が続いた。最後にMCの富永事務局長が議長となって議事に入り、事業・会計・役員改選など三議案を審議、原案通り満場一致で承認された。今総会の催しとして前支部長で言語学者の岩本忠氏（山高九期）が「ことばの修行」と題して特別講演を行った。講演前に同氏が支部長就任以来十数年に亘って会の運営と活動に尽力し、当会発展に多大な貢献をされたその功績を称え、感謝状が贈呈された。講演内容は「ことばの修行」を三部門に分けてユーモアを交え、時には学者らしく専門語を駆使し中身の濃い素晴らしいレクチャーとなった。ただ残念に思えたのは総会から懇親会に移る端境にあり、時間的余裕があまりなかった事である。ゲストスピーカーには大変失礼な事となった。前回総会時、西宮前権宮司の吉井貞俊氏（山高一期）の講演でも同様であったと聞き及んでいる。この点は反省材料である。



り、次回総会（来年）では失礼のなように努めたいと思う。

松南会です（報告とお願いを）

会長 湊 キミ

かつては、岩下会長から若い人にご指摘いただいて、松南会のお手伝いをしたのも随分昔の事のように思っています。でも松南会員としての存在位置は、今も若い人である様です。

これは、学制改革の影響で、三重県宇治山田高等学校が、昭和二十三年五月限りで無くなり、当時在学中の最下級を限りに新しい山女生はありません。当時の最後の山女生だった人達も、あと五年ほどすれば、八十才を迎えるという現在です。後の無い松南会員は物故の方も次第に増え、会員減の状態です。

幸い今は、後継校の山高同窓会の仲間としてお世話になっていきます。校名は変わってもなお、山女同窓会の松南会はここで継続しているのです。この山高同窓会総会への参加の方も、山中・山女の人数が少なくなってきたております。老いも、若きも共に歌い、共に笑い、共に語り合った一刻が戻って来ることを願って沢山の方々のご出席をおさそいします。今年の総会予定は次の通りです。

①松南会総会 十一月五日（月）

於 宇治中之切町の神宮会館

②三重県宇治山田高等学校同窓会総会は毎年八月の第二日曜日と決まっています。

本年分については裏表紙に記載されています。ご覧下さい。

※湊会長のご都合で山女昭和19年卒の大西生恵が記しました。

久保田康郎先生を偲ぶ会に参列して

山高同窓会 東京支部 富内雄二



一昨年11月に亡くなりました久保田君（前々々東京支部長／東京医科大学／東京医科大学名誉教授）を偲ぶ会（参列者150名）が、医科歯科大学M&Dタワー26階で盛大に開催されました（平成23年5月29日）。

東京支部より役員・同期生20名、伊勢本部より池田会長、牧田事務局長兩名のご参列を頂き誠に有難うございました。

参列して新発見が2、3ありましたので一筆認めました。

ご挨拶の中で先生方が口々に云われた事は、教壇に立つと非常に「コワイ」、きびしい先生だった（歯科麻酔学に全力投球）と（私は温厚、誠実な好人物と思っていた）。

戦後間もない物資不足の頃より三重県から上京、入学してくる後輩の面倒をよくみていた（現田上順次歯学部長「松阪市出身」もお一人）。昨年創立110周年を迎え、100周年当時の顔なじみの役職者（西山会長・藤原副会長・小川実行委員長・久保田東京支部長）が鬼籍に入ってしまった、昭和シングルは遠くなりけりか？

上京するまで（先生に聴く）

私は昭和3（1928）年12月18日に三重県宇治山田市（伊勢市）に生を受け、彼の地で幼少年代を過ごしました。伝統のある三重県立宇治山田中学校に通いました。

私が中学に入学した昭和16年に大

通信欄

「小林秀雄 歌曲の世界」

山中50期 齋藤 裕

名曲「落葉松」の作曲家として著名な小林秀雄君（山中50期）の傘寿

東亜戦争が始まり、3年生の昭和18年になりますと、戦火が激しくなり、授業もろくにやらずに農家の勤労奉仕や、高射砲陣地の構築作業に駆り出されました。昭和19年に入ると戦争は一段と激しさを増して敗色は濃厚となり、私たちは学徒動員の 일환として工場に動員されました。四日市の今は石油コンビナートになっている所が、戦時は海軍第二燃料廠であり、私たちはそこに配属されました。そこでは、ロケットの液体燃料を造っていました。昭和20年の卒業間際には、アメリカ軍の爆撃にも遭遇しました。そのような時代に東京まで大変な思いをして入学試験のために上京しました。入学試験のあった昭和20年2月26日の東京は、午後から大雪が降って、電車が止まってしまい、目黒にあった伯母の家へは膝まで雪の中に埋まって、8時間近くもかかって歩いて行ったことを覚えていています。

昭和20年3月に中学校を第4学年で一応卒業しましたが、戦争が激しかったので、私たちの上級学校への入学は、4月ではなく7月に延期され、6月まで四日市の海軍燃料廠にいました。この年は戦争が激しくなつたので、私たちは1年繰り上げて4年で卒業という旧制中学のいわゆる4卒という学年であったのです。

を記念して、標記のコンサートが昨年十一月一日夜、東京渋谷区千駄ヶ谷の津田ホールで開かれた。

この会は1959年創立の由緒ある音楽グループ『ぐるーぷふなべ』が第80回の演奏会に当たり、たまたま傘寿となつた小林君をゲストに迎えて開いたもの。間に小林君のトークを挟んで、男性4人・女声8人のプロ歌手が、「飛騨高原の早春」「日記帳」「瞳」「花の春告鳥」「赤いハイビスカス」など、小林君の代表的な歌曲16曲をソロで披露、最後に全員が小林君のピアノ伴奏で「落葉松」を合唱してお開きとなつたが、満場の五百人近い聴衆の拍手が暫し鳴り止まぬ盛況だった。

山高同窓会東京支部からは、富内雄二さん（山中47期）、角谷隆・三ツ木典子正副支部長と早川仁也事務局長をはじめ、小林君と同期の東京二期会の仲間など十数人が出席し、名曲の数々に聴き惚れ、小林君の今後益々の活躍と健康を願った。

写真提供は井熊孝司君（高2期）提供



山高25期同窓会

山高25期 上之郷賢二



平成24年1月2日に山高25期の同窓会を開催いたしました。前回の開催から3年が経ち、今回の出席は先生3名を含み76名でした。3～5年間隔で毎回100名を超える出席を得ていましたが、子供が結婚して孫ができる年になったのか今回は出席が少なかつたです。今年はクラス対抗歌合戦を行い、先生方が審査員となり楽しい時間を過ごしました。毎回企画を考えており、今回はオリジナルドラマの映像、フォークダンス等を行いました。次の開催を誓い閉会としました。

48期同窓会を開催

山高48期 山下 友広

平成24年1月2日に48期生初となる同窓会を伊勢シティホテルにて開催しました。

まずは数クラス毎に記念撮影。16年ぶりの再会に110名の参加者で

会場は大変盛り上がりしました。懐かしい（恥ずかしい？）写真や山高の様子をおさめたスライドショーで当時を振り返るとともに、野崎先生と高木先生からのビデオメッセージを觀賞。両先生にはこの場をお借りし、御礼申し上げます。また、インタビューに答え近況を報告してくれた5人には貴重な「山高ノート」を、出席者全員に48期版山高タオルを贈りました。そして、楽しい時間はあつという間に過ぎ、元生徒会長・結城君の一本締めで幕を閉じました。

出席者のみなさん、そして開催告知や受付、記念品製作などで協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました。またいつか会いましょう！



山高プラチナゴルフ会

第4回ゴルフコンペを次の日程で開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成25年4月27日（土）
場所 伊勢カントリークラブ



山高祭 9月8日~9日



文化発表会 3月25日



体育祭 5月31日



クラスマッチ 7月14日~15日



修学旅行 10月20日～22日 沖縄



合唱祭 12月21日

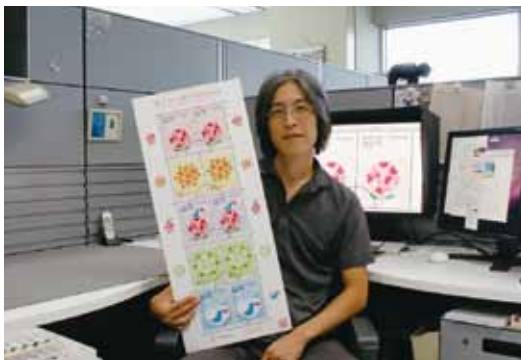


オーストラリア語学研修
3月17日～30日





東日本大震災寄付金付 切手・葉書のデザイン にあたって



山高第39期生の玉木と申します。郵便事業株式会社で切手デザイナーをしています。昭和62年に山高を卒業後、愛知県立芸術大学デザイン科に進学しました。当時は芸術大学に進学するという学生は1学年に一人もなく、情報もほとんどありません。バスケット部を引退した3年の夏休みから受験までは津の美術予備校に通い、ひたすら絵に没頭していたことを覚えています。

愛知芸大卒業後は、郵政省（当時）に入省しました。その頃、「切手デザイナー」などという肩書きは郵政省にはなく、「技芸官」といういかにもお役所らしいもので、自分には

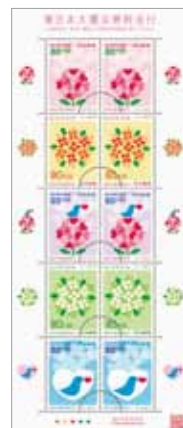
なんとも面映いようなくすぐったいような気がしていました。「技」と「芸」がある官職なんて素敵な名前だったかと、今は思ってますが。」

以来ずっと切手のデザインをやってきましたが、昨年4月、晴れて勤続20年という節目を迎えることができました。そしてその節目の年に、正確に言うと、その節目を迎えようとした直前に東日本大震災が起り、その復興を目的とした寄付金付切手と葉書のデザインをすることになりました。

3月11日の当日は、ご存知のとおり東京も交通は麻痺し、わたしも3時間かけ歩いて自宅まで帰りました。土日を不安の中で過ごし、そして月曜に出勤、すぐに寄付金付切手・葉書を緊急発行することが決まりました。しかも、通常2〜3ヶ月かけて仕上げるデザインを2週間、実質作業は1週間という超特急の仕事でした。

心理的にも落ち着かない中、見たこともない大惨事を目の当たりにし、その上未経験の大仕事、やる気だとかやり甲斐だとかそんなことなど感じる余裕もなく、ただただそこに大きな使命だけが横たわっていました。

切手と葉書はなんとか無事発行され、お買い上げいただいたみなさまの善意として9億円近くの寄付金を集めることができました。この寄付金は83の地方公共団体に配分され、この震災の復興事業に充てられます。



この切手のデザインにあたっては、普段多かれ少なかれ意識する「自分らしさ」や「自分の表現」といった欲求はなく、「一枚でも多く売れてほしい」という一念のみがわたしの手を動かしてくれました。メディアにも多く取り上げて頂きましたが、不思議なことに「自分を抜きにした切手が、なんとなくですが一番自分らしいのではないかと、1年を経ようとしている今、そう感じています。

私は仕事を通して震災復興に携わることができました。

これからも、人々のお役に立てたり、喜びとなり得るようなデザインをしていきたいと思っています。



39期生 玉木 明

式年遷宮記念せんぐう館 外宮・勾玉池畔に開館

外宮まがたま池のほとりに、第六十二回目の遷宮を記念して「せんぐう館」が誕生しました。館内には、外宮御正殿の模型、式年遷宮の祭儀や神宮の年中行事の概要を展示しています。



撮影／山高18期 齋藤和久



2012年度大学入試状況 (平成24年3月卒業生の入試状況から)

進路指導部

大学入試センター試験の大方がかなり変更と実施時のトラブルがマスコミで大きく取り上げられた2012年入試でした。全体では文低理高傾向で、地元の三重大学に関しては愛知県勢の流入が話題となりました。

高校受験に前期試験を導入して、2年目の生徒が卒業した本年。振り返ってみますと、国公立大学においては76名の合格者を出すことができました。とくに現役の合格者数は昨年と比べ30名も増加しています。76名という数字は、平成11年度以来であり、生徒たちは随分とがんばってくれたのだと言えます。また、私立大学でも明治大学1名や中央大学5名を始め、南山大学6名、関関同立に計31名が合格するなど、成果がありました。

昨年もそうでしたが、この2年間は、3月の最後まで粘って合格を勝ち取ってくる生徒が多く出てきています。昨年は8名、今年は10名が国公立大学の中期・後期で合格しました。まだ実力がしっかりと身につけていない秋の早い時期に、そのときの自分の実力相応の大学に決めてしまいうのではなく、粘って本当の実力をつけ、最後までがんばるという気持ちで進む指導をしています。その指導がここ数年、実ってきているのではないかと考えられます。

平成24年3月卒業生入試状況

国立大学		私立大学		私立大学		私立大学	
室蘭工業	2	北海道工業	1	名古屋商科	2	甲南	1
山梨	1	城西国際	1	名古屋女子	9	神戸松蔭女子学院	8
富山	1	亜細亜	1	名古屋文理	1	神戸薬科	1
金沢	1	駒澤	1	南山	6	武庫川女子	3
信州	1	専修	1	日本赤十字豊田	4	天理医療	1
岐阜	2	大東文化	1	日本福祉	9	奈良	4
静岡	2	中央	4	藤田保健衛生	3	岡山理科	2
愛知教育	1	東海	3	名城	7	九州産業	1
名古屋	2	東京工芸	2	皇學館	55	計	423
名古屋工業	1	日本	3	鈴鹿医療科学	27	短期大学	
三重	24	日本歯科	1	四日市	3	三重短大	13
京都教育	1	明治	1	聖泉	1	愛知大短大部	2
大阪教育	1	金沢工業	3	長浜バイオ	3	名古屋学芸大短大部	2
和歌山	1	福井工業	1	京都外国語	3	名古屋文理大短大部	1
広島	1	岐阜医療科学	2	京都学園	1	南山短大	3
鳥取	3	岐阜聖徳学園	2	京都産業	9	鈴鹿短大	1
島根	2	愛知	13	京都女子	4	高田短大	2
徳島	1	愛知医科	1	京都精華	1	関西外国語大短	2
長崎	1	愛知学院	10	京都橘	1	武庫川女子大短大部	1
琉球	1	愛知工科	4	京都ノートルダム女子	1	計	27
計	50	愛知工業	7	京都文教	1	各種専門学校	
公立大学		愛知淑徳	11	同志社	1	防衛大学校	1
都留文科	1	愛知東邦	1	同志社女子	1	三重中央医療セ	3
石川県立	1	金城学院	4	佛教	6	松阪看護	3
静岡文化芸術	1	椋山女学園	2	立命館	20	ユマニテク看護	1
愛知県立	2	大同	6	龍谷	9	ユマニテク医療福祉大学校	2
名古屋市立	1	中京	48	藍野	1	伊勢志摩リハビリ	1
三重県立看護	5	中部	19	大阪工業	3	旭理容美容	1
京都府立	2	東海学園	1	関西	4	その他	21
奈良県立	2	同朋	1	関西外国語	5	計	33
広島市立	1	名古屋外国語	12	近畿	14		
下関市立	2	名古屋学院	2	摂南	6		
高知工科	1	名古屋学芸	4	桃山学院	1		
計	19	名古屋芸術	1	関西学院	5		

献本リスト

献本者名	書 名
石田 久司様(山中48期)	● 私の十六歳 -満州星輝中学校の思い出-

同窓会では、将来の同窓会文庫開設のために、卒業生の方々の出版されました書物等を寄贈していただきますよう、機会あるごとにお願ひしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

ホームページを活用いただいていますか？ 是非、ご覧下さい。http://www.yamako.org

同窓会のホームページは、100周年記念事業の一環として、同窓会会員同士の交流の場として、平成10年に立ち上げられました。その後、より親しみやすく、活用しやすいサイトになるよう、平成14年、平成20年にリニューアルを行いました。また、その運営を担当している情報委員会の活動も、当初は1ヶ月に一度、現在は2ヶ月に一度、多忙な中、委員の皆さんに集まっていた、委員会を開催しています。委員として、同窓会のホームページの運営に興味のある方は、是非、事務局までご連絡ください。

このホームページは、会員の皆さんよりの情報提供がなくては成り立ちません。同窓会活動の案内、同窓生の活動の案内（展示会、コンサートの開催、著書の案内など）、同期会開催の連絡、開催後の感想や会員の近況（個人の活動を含む）などを、同窓会本部事務局（e-mail:info@yamako.org）までご連絡をお願いします。

このホームページを通じて、会員の皆さんの情報を広く提供し、よりよい交流を願っております。なお、卒業期全体の同期会を開催される場合は、各期会員のタックシール作製をサポート

しております。各期代表を通じて本部事務局にご連絡ください。（ホームページから申込書をプリントできます。）

また、現在、同窓会ホームページ上に協賛企業

の掲載を行っております。企業を経営（勤務）している方、お店を営まれている会員の皆様が、会社やお店のご紹介、求人情報、同窓会員だけの特典などさまざまな情報を発信していただく場としてご利用いただいております。まだ、ご利用いただいていない皆様には是非この機会にご検討ください。年間掲載料は、2万円です。詳細は、こちらをご覧ください。



<http://www.yamako.org/kigyopage/boshu.html>

ご存知の方も多いかと思いますが、ホームページから同窓会協力金・協賛企業協力金のカード決済ができるようになっています。金融機関に出かけなくても協力金の支払いが便利です。今後ともご協力、ご利用をお願いします。

<http://www.yamako.org/card/index.html>

携帯電話からも
ご覧いただけます



平成23年度同窓会総会&

平成24年度同窓会総会のお知らせ

平成23年8月14日(日)伊勢市観光文化会館において同窓会総会が開催されました。総会に先立って恒例の記念講演が土井孝子さん(山高12期)を講師として行われました。

『伝えたい罌堂の心』—尾崎罌堂の生涯とその功績—と題し、我が国の憲政史上に不滅の功績を残され、憲政の神と仰がれた尾崎行雄(罌堂)先生の業績をその人柄とともに詳しく話していただきました。また、ワシントンのポトマック河畔に贈った桜、その返礼として贈られた花みずきのことなども、スライドを使いながらわかりやすく私たちに伝えてくださいました。その語り口調から土井さんの尾崎罌堂先生への熱い思いを感じることができました。

総会では池田六太郎会長(山高19期)の挨拶に始まり、新役員の承認など議事は全ての議案が滞りなく承認され、総会は終了しました。

懇親会においては、小山喜雄先生の指揮による恒例のプラチナ合唱団の歌、参加者最高齢の中西衛三氏(山中36期)による乾杯の御発声により懇談となりました。



23年度
総会の様子



平成24年度同窓会総会のお知らせ

日	時	平成24年8月12日(日)午前10:00受付
会	場	伊勢市観光文化会館(近鉄宇治山田駅前)
記	念	10:30~11:30
演	題	「式年遷宮」
講	師	中西和夫(山高13期)
講	演の要旨	来年迎える第62回式年遷宮と神宮について
総	会	11:35~12:00
懇	親	12:15~15:00

講師略歴

昭和36年	宇治山田高校卒業(山高13期)
昭和40年	国学院大学卒業
昭和41年	靖国神社奉職
昭和42年	神宮奉職
平成13年	神宮禰宜拝命
	調度部長
	文化部長(神宮徴古館館長)
	祭儀部長

※平成24年度の招待期は山高13期・山高62期です。招待期以外の皆さんも是非ご参加ください。
(なお、招待期以外の懇親会費は3,000円となっております。)

山高文化部発表会のお知らせ

恒例の第13回文化部発表会(第48回音楽発表会)が平成25年3月20日に伊勢市観光文化会館において催されます。合唱、写真など全国レベルの文化部が一堂に会しての発表会です。入場無料です。是非ともご来場ください。

展 示 会場11:30~ 終了14:30

演奏会 会場11:30~ 開演12:30~

参加クラブは次の通りです。

合唱・吹奏楽・放送部・写真部・美術部・書道部・茶道部・華道部・文芸部・漫画研究部・インターアクト部

編集後記

今年の4月初旬は雨が少なかったことから、山高の近くの宮川堤に咲いた桜を長い期間楽しむことができました。同じ日本に住みながら、今年の春も故郷を離れ、故郷の桜を愛でることのできない東日本大震災被災者の皆様方の思いはいかばかりか。会員相互の友好と母校とをつなぐ架け橋として、皆様方に喜んでいただける会報づくりを目指して活動してまいりました。年度替わりの人事異動や前年の大学入試状況を掲載できることなどから会報を今年から6月発行といたしましたのでご承知おきください。

今年度の表紙は「書の甲子園」として知られる「第20回記念国際高校生選抜書展」で応募16714点の中から見事に大賞を受賞した島田冨香さん(受賞時3年生)の受賞作品を載せさせていただきました。